なんでもインフォ

新春号 2018. 1

発行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

新年あけましておめでとうございます！。本年も昭和土木設計、及び「なんでもインフォ」をご愛顧下さいますよう、宜しくお願い致します。

～「トリビア的な雑学」～

はじめに

明けまして、おめでとうございます。

昨年、県内では小規模な災害はあったものの、平成 28 年のような大規模な豪雨災害もなく（九州地方では大きな豪雨災害がありましたが）、比較的穏やかな年だったと思います。（手持ちの業務は穏やかではありませんでしたが・・・）出来れば今年も大きな災害も無く、穏やかな年であることを願います。

さて、今回インフォですが、年初めから難しそうな（高度な）話も持ち合わせていないので、最近ネット等から拾った、役に立つかどうか分からない「トリビア的な雑学」を載せてみたいと思います。“そんなの疾うに知ってるよ”と言うのも結構あると思いますが、その辺はご勘弁を。

【社会の雑学】

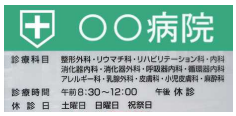
■お札と硬貨の違い

お札は「日本銀行」と大きく書かれているが、硬貨には「日本銀行」とは書かれていない。この理由は、お札と硬貨は発行元が違い、お札は日本銀行が発行しているのに対して、硬貨は日本政府が発行しているためなそうです。



■病院の看板表記

外科、内科、小児科、皮膚科など、病院の看板に書かれている診療科目は、医師免許を持つものなら申請さえすればすべての科目を表記する事が出来るそうです。ちなみに、多くの場合、専門科目を先頭に書くようです。なので、「内科、外科、小児科」の順に書かれていたら専門科目は内科になるみたいです。



■非常口のマーク

非常口のマークの色には白地に緑で描かれているものと、緑地に白で描かれているものの 2 種類があります。違いは、緑地に白は、その場所に非常口があるということを示しており、白地に緑は、非常口のある方向を示しています。白地に緑の方は、通路にある場合が多いので、白を多めにして照明の役割もはたしているようです。



【生活の雑学】

■北を知る方法

1. 時計を水平に置き中心にマッチなど水平な棒を立てる。
2. 時計を回して、マッチの影と短針を重ねる。
3. この影の線と 12 時の文字盤の中間がほぼ北の方角を指す。

つまり短針が 8 時を指していた場合は 10 時の方向が北。逆に短針を太陽の方向に合わせるやり方もあります。

まあ、時計を持ってないと意味ないですが・・。



■オーストラリアのコイン

オーストラリアで最も額面の小さいコインは 5 セントでそれ以下はないそうです。なので、57 セントの商品を買う際は 2 セント切り捨てられて、55 セントを払うだけでかまわないとのこと。「二捨三入、七捨八入」のシステムが取られているようです。

ちなみに、1 セントコインが廃止された理由は、作るのに 1 セント以上かかるから・・・だそうです。



■閉架書庫

図書館には、本棚に並んでいて手に取ることができる閲覧可能な本の他に貴重な本や、古くて借りられにくくなった本が収蔵されている**閉架書庫**というものがあります。一般の人は中に入ることは出来ませんが、この閉架書庫に保管されている本の数はとても多く、図書館によっては 8 割以上の本が閉架書庫に置かれているそうです。なので、一通り探したけれど無かったからといって諦めて帰らず。館内の端末やパソコンで検索して、係の人に頼めば持ってきてくれます。



■車のナンバープレートに無い文字

車のナンバープレートに、「お」「し」「ん」「へ」の４文字は使われていない。

「お」は「あ」と間違われる可能性があるため。
「し」は「死」を連想して縁起が悪いため。
「ん」は発音が難しいため。
「へ」は「屁」をイメージするためなそうです。



【科学の雑学】

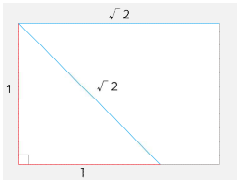
■降水確率 0%の呼び方

テレビの天気予報などでは降水確率 0%の事を、ゼロ%とは言わず、レイ%と言います。これは、ゼロが「全く無いこと」をさすのに対して、レイには「極めて小さい」という意味もあるためなそうです。



■紙の大きさ

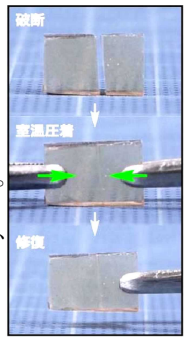
紙のサイズにはA系とB系がありますが、紙の大きさはどちらも、縦を 1 とした場合、横はルート 2 の比になるように作られています。 これは長辺の真ん中で何度折っても、1 対ルート 2 の相似となる長方形が出来る特殊な比率にしてあるためなそうです。



■ガラスは液体

古代エジプトで発明され、以来人類にとってなくてはならない物となったガラス。一見すると固体に見えますが、物理学的には、「粘り気が強く流動しなくなった液体」なそうです。ちなみに雑学ではないですが、最近のニュースで、東京大学大学院の研究グループが、世界初の自己修復ガラスを開発したそうです。

室温で破断面を押し付けておくと修復し、再利用が可能になる初のガラス素材なそうで、修復能を評価したところ、室温における数時間の圧着で機械的強度が損傷前と同等の値にまで回復したそうです。持続可能な社会への貢献が期待されるという事でした。東大の研究グループすごいです!!



産経ニュースより

実用化された場合、もしかするとスマートフォンの画面を割っても自動で修復できるようになるかもしれないです。

おわりに

今回掲載した雑学の他にも載せたいものもありましたが、スペースの関係上それは次の機会にでも載せたいと思います。

最後に改めまして“本年もよろしくお願いいたします”

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路・河川・橋梁等の計画・設計、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください。

配布者

作成者：コンサルタント事業部
菊池 徳彦